

製品名: PDIA3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86431**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:57 kDa; Observed MW:57 kDa

抗原情報

遺伝子名	PDIA3
別名	P58; ER60; ERp57; ERp60; ERp61; GRP57; GRP58; PI-PLC; HsT17083; HEL-S-269; HEL-S-93n
遺伝子ID	2923
SwissProt ID	P30101
免疫原	ヒト PDIA3 の合成ペプチド

背景

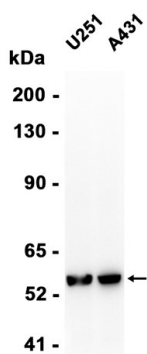
この遺伝子は、レクチンシャペロンであるカルレティキュリンおよびカルネキシンと相互作用し、新たに合成された糖タンパク質の

フォールディングを調節する小胞体タンパク質をコードしています。このタンパク質はかつてホスホリパーゼと考えられていましたが、実際にはタンパク質ジスルフィドイソメラーゼ活性を有することが実証されています。レクチンとこのタンパク質の複合体は、糖タンパク質基質におけるジスルフィド結合の形成を促進することで、タンパク質のフォールディングを媒介すると考えられています。また、このタンパク質はタンパク質凝集体の形成を防ぐ分子シャペロンとしても機能します。[RefSeq 提供、2016年12月]

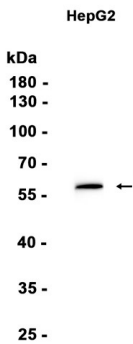
研究分野

-

画像データ



PDIA3 ウサギモノクローナル抗体を 1:500 で使用して、U251、A431 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe86431 を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。